

第1学年 家庭科学習指導案

日 時 平成16年9月29日(水)5校時
 場 所 桜町中学校
 学 級 1年 A組(男21名、女19名、計40名)
 指導者 教諭 畠山尚子

1 題材名 「衣服の選択と手入れ」

2 題材について

(1) 生徒観

日常生活において、衣服に関心を持っている生徒は少ない。せいぜいファッションに関心を持っている女生徒が数人いるだけである。また、衣服の手入れに関してはほとんどが親任せである。日常着の手入れというと、ほとんどの生徒が洗濯を想起するが、日常的に洗濯をしている生徒はほんのわずかである。また、ほころびを直すことやアイロンがけ、ブラシかけなどはほとんど考えていないのが現状である。繊維の種類についてもあまり意識していない。小学校ではボタン付けを習ってきているが、半数以上がその付け方を忘れている。

実習や作業を面倒がる男子生徒はいるが、取り組み始めると意外に興味・関心を持って行っている。

(2) 教材観

今や身の回りの物、身につけているもののほとんどが既成のものである。そのような中で衣生活の自立につながるものとして考えられるのは、自分らしさを大切にしながら、その場に応じたよりよい選択と適切な衣服の管理である。特に、衣服材料や汚れの度合いに応じた適切な手入れと補修は、衣服を大切にしようとする心を養うことができると考える。

(3) 指導観(指導の構想)

生徒の多くは日常着の選択には少々関心を持っているが、手入れとなるとほとんど関心を持たずに生活している。そこで、家庭での調査活動を取り入れながら、興味・関心を持たせ、授業の中では実習を多く取り入れ、いろいろなことを体験させるようにしている。

日常着の補修では、なみ縫い、返し縫い、ボタン付けなど、小学校で習ってきたことをもう一度繰り返すことによって基礎・基本を定着させるとともに、ほころび直しの方法としてまつり縫いを加えている。

洗濯については、洗濯の時だけではなく、調理実習や住まいの清掃に関する題材でも取り上げながら、環境に配慮した使い方という観点を大切に用途に応じた適切な使用方法を身につけさせたい。

3 題材目標及び評価規準

	関心・意欲・態度	工夫・創造	技 能	知識・理解
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること ・日常着の計画的な活用を考え、適切な選択ができること ・衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができること 			
評価規準	衣服の着用、選択、手入れについて、関心を持って学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしようとしている。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的な技術を身につけている。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的な知識を身につけている。

4 題材の指導・評価計画（時間扱い）

時数	学習活動	評価規準			
		関心・意欲・態度	工夫・創造	技能	知識・理解
1	衣服と社会生活とのかかわり	衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている	目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している		衣服の社会生活上の機能について理解している
1	日常着の選択	日常着の計画的な活用に関心を持ち、適切に選択しようとしている	日常着の計画的な活用について考え工夫している	伊勢衣服の表示や縫製などについて調べ、適切に選択できる	既製服の表示と選択にあたっての留意事項について理解している
1	衣服材料	衣服材料について関心を持って学習に取り組んでいる			衣服材料について理解している
3	日常着の補修	衣服材料に応じた日常着の手入れについて、関心を持って学習活動に取り組んでいる		補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修することができる	日常着の手入れ、補修の目的と日常着に提起した衣服の補修方法を理解している
2 本時 1 / 2	日常着の洗濯	衣服材料に適した洗剤の種類、使用量、洗剤のはたらき、洗濯機を用いた洗濯の方法について関心を持って学習活動に取り組んでいる		衣服材料や汚れの度合いに応じた手入れができる	衣服材料に応じた洗剤の種類、使用量、洗剤のはたらき、電気洗濯機を用いた洗濯の方法と特徴を理解している
2	環境に配慮した生活	環境に配慮した生活について関心を持って学習活動に取り組んでいる	環境に配慮した生活について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している	環境に配慮した生活について調査したり、発表することができる	環境に配慮した生活について理解している

5 本時の指導（7 / 10）

（1）授業の構想

汚れのついたTシャツを提示することにより、洗濯の必要性を意識させるとともに、家庭にある洗剤を調べさせ、普段何気なく使っている洗剤に関心を持たせる。また、洗剤のはたらきを、実験を通して理解させる。

（2）目 標

- ・実験に積極的に取り組み、洗剤のはたらきを知る。

（3）具体の評価規準

評価場面	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への具体的手だて
洗剤のはたらきについて関心を持つ	友人に声をかけながら実験に取り組む	実験に取り組み、洗剤のはたらきを知る	実験方法などを確認させるなど、声が

て実験に取り組んでいる (関・意)	み、洗剤のはたらきを知ろうとしている	ろうとしている	けを行う
洗剤のはたらきを理解している	洗剤の4つの作用について理解し、説明できる	洗剤の4つの作用を理解している	実験結果やそのまとめを振りかえさせる生徒間の教え合いを促す

(4) 展開

	学習活動	教師の指導・援助	評価規準・方法
導 入	<p>衣服について汚れを視覚的に意識する</p> <p>汚れていて困ることを考え、洗濯の必要性を意識する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着られない ・汚い <p>汚れを取るための方法を意識する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水洗い、お湯洗い ・洗剤 ・手もみ洗い、洗濯機 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>洗剤の性質を考えて 汚れを落とそう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れたTシャツに漂白液をつけて汚れを浮き上がらせたものを提示する ・汚れていて困ることはどんなことが発問する ・汚れを取るためにはどうするか、発問する 	
展 開	<p>1. 洗剤のはたらきを実験を通して調べる。</p> <p>油を入れてかき混ぜる すず(固体)を入れてかき混ぜる 布への汚れの付き方を調べる 布へのしみこみ方を観察する</p> <p>2. 実験結果からわかることを発表する</p> <p>3. 実験結果からわかる洗剤のはたらきをまとめる</p> <p>乳化作用 分散作用 再付着防止作用 浸透作用</p> <p>4. 汚れが落ちるプロセスを知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~ の実験は、一つ一つ教師が師範してからすすめさせ、観察、記録させる。 ・ の実験は少し難しいので、教師が行い、観察、記録させる ・ 実験の結果からわかることをまとめさせ発表させる ・ 実験結果からわかる洗剤のはたらきをまとめ、説明する ・ 洗剤の4つの作用のかかわりで汚れが落ちるプロセスを説明する 	<p>洗剤のはたらきについて関心を持って実験に取り組んでいる(関・意)</p> <p>学習プリント</p> <p>・洗剤のはたらきを理解している(知・理)</p>
終 結	<p>自己評価を行う 洗剤の種類について考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実物の洗剤と洗剤のラベルを提示し、洗剤の種類についてふれる(石けん、合成洗剤、複合石けん) ・ 洗剤の正しい使い方(洗剤の量)を発問し、次時につなげる 	<p>学習プリント</p>

学習課題

1. 洗剤のはたらきを調べよう

《 実験結果 》

	水	洗 剤 液	実験結果からわかること
① 油を入れてかき混ぜた時			
② すず（固体）を入れてかき混ぜた時			
② 布への汚れの付き方			
③ 布へのしみこみ方			

《 実験結果からわかる 洗剤のはたらき 》

- ①のはたらき _____ 作用
- ②のはたらき _____ 作用
- ③のはたらき _____ 作用
- ④のはたらき _____ 作用

実験方法

- ① 水に、「ごま油」をスプーン2杯入れ、はしでかき混ぜる。
洗剤液に、「ごま油」をスプーン2杯入れ、はしでかき混ぜる。



「ごま油」の様子を観察し、記録する

- ② 水に、「すす」を入れ、はしでかき混ぜる
洗剤液に、「すす」を入れ、はしでかき混ぜる



「すす」の様子を観察し、記録する

- ③ ②のそれぞれのビーカーに、「白い布」を半分だけ入れ、引き上げる



布についたすすの様子を観察し、記録する

- ④ 水を一滴 布に落とす →それぞれの
洗剤液を一滴 布に落とす しみこみ具合を観察し、記録する

【自己評価】

- ・洗剤のはたらきについて関心をもって実験に取り組みましたか
はい ほとんど もうすこし いいえ
- ・洗剤のはたらきがわかりましたか
はい ほとんど もうすこし いいえ

【感想】

資料

『洗剤の表示』から

A

品名	洗濯用石けん
成分	純石けん分 (99% 脂肪酸ナトリウム)
ショボン石けん株式会社 〒803-0195 北九州市若松区南二島2丁目23番1号 TEL 093-791-4800 MADE IN JAPAN	

B

品名	洗濯用合成洗剤		
用途	綿・麻・合成繊維用	液性	弱アルカリ性
成分	界面活性剤(25%、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム、 ポリオキシエチレンアルキルエーテル)、水軟化剤(アルミノ けい酸塩)、アルカリ剤(炭酸塩)、工程剤(硫酸塩)、分散剤、 蛍光増白剤、酵素		

C

品名	洗濯用複合せつけん
用途	綿・麻・合成繊維用
液性	弱アルカリ性
成分	界面活性剤(38%) 純石けん分(27% 脂肪酸カリウム) 純石けん分以外の界面活性剤 (11% 脂肪酸アルカノールアミド) アルカリ剤(炭酸塩) 可溶化剤